

## 2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	国際学部・教授
	氏名	于康
海外客員 教員	所属・職	浙江師範大学・教授
	氏名	徐微潔
招聘目的	1. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2023年 9 月 20 日 ~ 2024 年 1 月 19 日	
成果報告	言語構造と意味表現基礎 (国際学部)	
以下の内容を日本語で記載して下さい。	この授業は、言葉の形式と意味との関係を理解するために最も基礎的な言語構造や意味表現の知識を学ぶことを目的とする授業でした。受講者は、「人間は言語を使って情報を記録したり伝達したりする際に、まず、言葉の形式を選ぶ。その言葉の形式の選択は恣意的なものではない。人間はあるルールに従って、言葉の形式を選択し、その形式に付加される意味を活性化させながらコミュニケーションを行うのである。しかし、言葉の形式が同じであっても、表現しうる意味は必ずしも一つではない。言葉の形式とその形式で表現しうる意味とがどのような関係なのか」を理解することができたと言えるでしょう。受講者からは、新しい視点の講義だったので、非常に収穫があったとの評価をいただいています。	
1. 授業担当及び研究		
(1) 授業科目名		
(2) 授業担当の成果		
(3) 研究の内容		
(4) 研究の成果		
2. 共同研究		
(1) 共同研究の内容	日本語教育トピックス	
(2) 共同研究の成果	(大学院言語コミュニケーション文化研究科前期)	
3. 特別枠		
(1) 活動内容	この授業は、中国の日本語教育の現状を踏まえつつ、日本語教育の現場で生じた諸問題及び解決法を中心に、中国における日本語教育の諸課題を明らかにし、中国語母語話者日本語学習者を対象とする日本語教育のストラテジーを考えることを目的とする授業でした。本講義を通して受講者は、中国での日本語教育と日本での日本語教育の違いを理解し、日本語教育に何が必要なのかを理解することができたと言えるでしょう。受講者からは、非常に収穫があったとの評価をいただいています。	
(2) 成果	日本語の名詞の誤用研究 于康研究室が構築した『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver. 12から日本語の名詞に関する誤用データを使い、対照言語学的研究という立場から、中国語母語話者日本語学習者の名詞誤用の共起メカニズムを考察したうえで、その成果として、2024年刊行予定の『日本語の名詞の誤用研究』を共著者として執筆した。 その他の成果は以下の通りである。 徐微潔ほか「学習環境对中国日语学習者口語流利性的影響」『日語学習与研究』第2号(刊行予定)。 徐微潔ほか「在日中国女性形象的對話建構研究—以『朝日新聞』和『読売新聞』為例」『高等日語教育』(投稿中)。徐微潔ほか(2024)「中学日語教書中的中国形象研究—持人教版初、高中『日語』為例」『日語教育与日本学』(投稿中)。	

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

\*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます